

第3回ワークショップ 実施概要

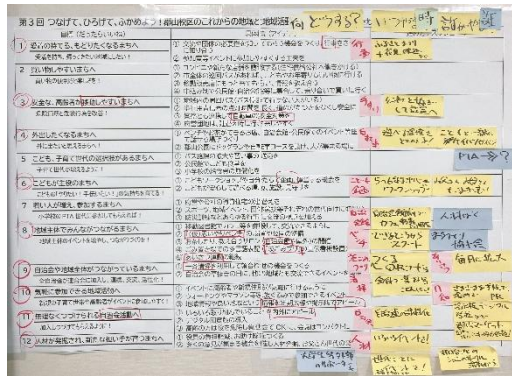
開催日時・参加者

- 日時:令和7年12月14日(日)10時00分～12時00分
- 場所:郡山公民館・大会議室
- 参加者:22名(茨木市等を除く)

プログラム

- あいさつ | 郡山小学校区まちづくり協議会 東会長
- 茨木市よりあいさつ・前回意見に関する補足等 | 茨木市
- 前回のふりかえりと今回の進め方について説明
- 『地域と地域活動の魅力と課題』について意見交換
- グループワーク結果の共有、全体での意見交換
- 今後の予定、進め方確認、アンケート

連続ワークショップを終えて、「つなげて、ひろげて、ふかめよう！郡山校区のこれからの地域と地域活動 郡山校区の活性化に向けた10の目標！」を作成しました。
中面をご覧ください！



参加者のみなさんの声

※ お名前のないものは
参加者アンケートより紹介

地域の方が意見を気軽に交換できて、テーマに沿って着実に進んでいるところが良かった。

意見交換の場が少ないため、よい機会となりました。

皆様の知恵が集まってより深く今後の取組みがわかった。

郡山ができた時のことなど、いろんな歴史を振り返って、いっぱい知らなかったことを教えてもらいました。「井戸を掘った人の事を忘れない」という言葉があります。課題がある中で、伝統や温かいこの郡山地域を作ってくださった先輩方々に感謝しながら、次世代につなげていくのは私たちしかいないので、自分たちが井戸を探して、掘って、それが水脈となるように、一丸となって団結してやっていけたらいいと思います。

郡山小学校区まちづくり協議会 会長 東さん

たくさんのアイデアが出てきました。これから私たちも持ち帰り、市内部でも共有したいと思いますが、こんな課題が出ていたよと、私たちが伝えるだけでは行政は動きません。個人の声ではなく、自治会やまちづくり協議会の声の方が届きやすい。それこそ、みなさんが地域のコミュニティに参加いただくメリットかと思います。今年度で終わることなく、明日から、来年、再来年と、どんどんメンバーを広げて、深めていただきたいと思います。

茨木市地域コミュニティ課 課長 幸地さん

●今後の予定●

いばまちサミット 2/21(土) 13:30～(場所:おにクル きたしんホール)にて
連続ワークショップの成果を発表します！

つなげる ひろげる ふかめる わたしたちのまちづくり

郡山小学校区まちづくりワークショップニュース
令和7年12月

Vol.3

「つなげて、ひろげて、ふかめよう！郡山校区のこれからの地域と地域活動」 連続ワークショップを終えて…

12月14日(日)連続ワークショップの最終回、「第3回 つなげて、ひろげて、ふかめよう！郡山校区のこれからの地域と地域活動」を開催しました。今回は、第1回、第2回ワークショップでみなさんからいただいた意見を12の目標と35の具体策にまとめ、これらの体系が自分たちの想いと合致しているのか、合致しているなら、今後、どのように進めていくのか、話し合いました。

「(仮)思いやりベンチ」については、管理者との協議や安全の確保などの課題もあるけど、「動けるところから動いていこう！」と整理されるなど、いくつかの先導的な取り組みやアイデアが出ました。また自治会館などを活用した交流イベントのアイデアについては、「動き出すぞ！」との期待感が高まりました。一方で、「人材発掘」については、すべてのグループで話し合われましたが、「実際にどのように進めていくか？」を考えると「誰がやるのか？」と、なかなか前へ進まず、課題が残ったところもありました。

今後は、まちづくり協議会として、意見を整理し、2/21(土)に行われる「いばまちサミット」にて報告します。皆さんぜひ聞きに来てください！いよいよアイデアの具体化です。引きつづき、ご協力お願いします。



A グループ | 模造紙に意見を整理



B グループ | ふせんを使って意見交換



C グループ | ふせんを使って意見を整理



D グループ | 地図にアイデアを整理



A グループ | 意見交換結果の発表



B グループ | 意見交換結果の発表



C グループ | 意見交換結果の発表



D グループ | 意見交換結果の発表



市よりあいさつ

つなげて、ひろげて、ふかめよう！郡山校区のこれからの地域と地域活動 郡山校区の活性化に向けた 10 の目標！

目標（だったらいいね）	具体策（アイデア）	進め方やスケジュール
1 愛着の持てる、もどりたくなるまちへ 愛着を持ち、帰ってきたい地域にしたい！	① 交流や団体の必要性を知ってもらう機会をつくり、 行事をきっかけに知り合う ② 参加賞等イベントに参加しやすくする工夫を	➡ 新たなイベントとして『花見』で交流！ □ 3～4 月頃に清掃と合わせて □ 審査員を呼んでカラオケ大会！（こどもも参加したくなるように） □ 「自治会等から〇名ずつ参加」と呼びかける □ 参加賞の費用を抑えるための工夫が課題
2 買い物しやすいまちへ 買い物の便利さと楽しさを！	① コンビニや新たな店舗を誘致する（住宅供給公社へ働きかける） ② 市全体の巡回バスがあれば、こどもやお年寄りも買い物に行ける ③ 移動販売店にもっと来てもらい、情報を教え合う ④ 申込み制で公民館・自治会館等に集合して、乗り合いで買いに行く	➡ 移動販売店を増やす、みんなに知らせる □ イオンコープ配達、マーケット、外国の方の飲食店等（交流のためにも大切） 
3 安全な、高齢者が移動しやすいまちへ 危険箇所と危険行為を改善！	① 地域内の周回バス（バス停まで行けない人がいる） ② 歩行者用青信号の点灯時間を長く、道のがたつきをなくし安全に ③ 警察とも連携して 自転車の安全対策 を ④ 府営団地は、建替え時に行き来しやすく	➡ 自転車の安全啓発看板づくりワークショップ □ 小学生等こども中心
4 外出したくなるまちへ 外に出たいと思えるまちへ！	① ベンチやお茶ができるお店、 自治会館・公民館でのイベント 等座って話せる場所づくり ② 郡山公園 にドッグランや自転車コースを設け、人が集まる場に	➡ 『郡山シアター』を開催して交流 □ 公民館や団地の壁を活用した映画会「郡山シアター」 □ まちづくり協議会所有のプロジェクターを使用 ➡ 郡山公園での防災訓練 □ 防災訓練等、郡山公園を活用したイベント
5 こどもが主役のまちへ こどもの「やりたい！手伝いたい！」の気持ちを育てる！	① こどもワークショップ やこどもが自分たちで企画、運営する機会を ② こどもが安心して遊べる環境、施設、見守りを	➡ 3 月の五日制について話し合う場で協議して、来年度、五日制を学校と連携して実施。 □ 5・6 年生中心に中高生も参加し、保護者も巻き込む 
6 若い人、子育て世代が増え、参加するまちへ 小学校 PTA 世代が増え、参加してもらえれば！	① 府営や公社の賃貸住宅の建替えを ② スポーツ 、地域イベント、団体競技等それぞれの世代向けやウォーキング、マラソン等に家族ぐるみで参加できるイベントに取り組む ③ 防災訓練などあらゆる行事に交流の視点を加える ④ 公民館でこども食堂を ⑤ バス路線の拡大や習い事の送迎で、選択肢を確保	➡ スポーツレクリエーション(スポレク)の充実 □ 7 月頃、小学校グラウンド・体育館・公民館大会議室で、ソフトボール、輪投げ、ディスコン等 
7 地域全体も自治会もつながっているまちへ 地域主体のイベントを増やし、全自治会が連合会に加入し、連携、交流、活性化！	① 『(仮)思いやりベンチ』 の設置や公園の整備 ② お茶や、教え合うサロン、 交流(自治会館や屋外、移動図書館前)の開催 ③ ごみ置き場での多言語表記(『茨ごみプリ』の宣伝看板設置)あいさつ運動の継続 ④ 一斉清掃を利用して 顔合わせの機会 をつくる ⑤ 自治会の草抜きの日、他の地域とも 交流できるイベント を開催	➡ まちづくり協議会が行政等と協議したり、所有者の許可を得た上で設置 (1)今すぐ動ける部分から動く □ 地域で検討の上、公社や府、市と協議 (2)ベンチ設置 □ 管理者等と協議し桜並木の間等に 2～3 人座れるしっかりしたものを設置 □ 手すりも設置 ➡ 自治会館前に移動図書館が来てカフェを！ 子育てサロン(赤ちゃん)+いきいきサロンを継続、拡大！ 子ども食堂やカフェと一緒にい世代間交流！ ➡ モデルとしてごみ捨て場に QR コードを拡大して貼付。その後、市に依頼し、正式設置。外国人の方が働く会社等と連携して周知 ➡ 地域全体で協力して、各自治会の区域を清掃 □ 若い人の力を借りたいので地域の力を振り分けたい □ 課題は広くて高齢化している府営住宅 ➡ 自治会清掃の後に、たこ焼きパーティー等開催 □ 井口台北の清掃で実施済 □ 公民館で会費制たこ焼きパーティー □ 井口台北の役員さんからスタート(こどもも参加) □ 自治会ごとに清掃の日がバラバラで、府営住宅、クレセント自治会は参加者が高齢化
8 気軽に参加できる地域活動へ 新規の子育て世帯や高齢者がイベントに参加しやすく！	① イベントに高齢者や新規住民が気軽に行けるように ② 地域情報や良い地域という情報を定期 広報や掲示板でアピール	➡ 紙の色を変えたり、用紙を大きくしたり、チラシ、ポスターを目立たせる、学校で配ってもらう、病院、お店に掲示、会館に掲示板設置
9 無理なくつづけられる自治会活動へ 加入しつづけてもらえるように！	① いろいろ取り組んでいることを 内外にアピール ② デジタル回覧板の導入 ③ 高齢の方は役を免除し負担金で OK に、会議はコンパクトに	
10 人材が発掘され、新たな担い手が育つまちへ	① 役員の負担軽減、お助け隊をつくる ② 多くの意見が 集まる機会 を催し、人材発掘、 お父さん世代の交流	➡ PTA 休会後もこどもたちのことを考える場づくり □ 小学校と連携して人材募集していく まち協、自治会連合会、その他自治会など郡山全体でつながる場づくり □ すべての自治会が集まる場がない(自治連に入っているのは自治会の半数以下) 屋内と屋外のイベント両方あると良い □ カラオケ大会、ボウリング大会、ソフトボール大会、バスツアー、温泉、グラウンドゴルフ、サークル・同好会(釣り、ゴルフ) □ 世代ごと(子育て世代、親世代、高齢者)の交流の場をつくる 